

人口減少下の行政・地方自治分科会（第26期、第2回）

議事要旨

I 日時・場所 令和6年5月19日（日）11時30分～12時30分、対面会議

II 出席者 伊藤正次、入江容子、北山俊哉、嶋田暁文、城山英明、原田久（あいうえお順、敬称略）

III 議 事

1 5月18日の共同シンポジウムについて

Google フォームで申し込みをしてもらう形をとり、非会員からは30名の応募があったが、実際に参加された方は9名であった。

申込者のうち1名はメールアドレスが間違っていたがために、資料ダウンロードページについての連絡等ができなかった。

特定の大学の関係者が登壇者のうち3名を占めたことについて、（諸事情により致し方がなかったのだが、その事情を共有できていなかったために）苦言を呈された方がおられた。

2 今後の分科会の持ち方について

上記の点に鑑みると、学会に重ね合わせて開催するという方法に必ずしもこだわるのではなく、担当の先生の負担が大きくなりえない範囲で、学会とは別の日程で開催するという選択肢も考えていただいてもよい。

3 岩永先生の提起について

人口減少（や家族形態の変化）が進行する中で、「支える人」が減少していることに着目して、分科会を設けることは可能ではないか。生活保護受給者の増大、ヤングケアラー問題などを包括的に扱うことが可能となるからである。

「支える人」が減少していることに伴う問題としては、消防団や民生委員のなり手不足問題もある。分野間の比較のようなことをしてみるのも面白いのではないか。

4 次回について

今回は、年度後半（秋）くらいにオブザーバーの先生方（2名）および岩永先生を交えてディスカッションをする。（そのため、「政治学会の際に次回を行う」という前回の案は撤回し、改めて日程調整を行う。）

以上